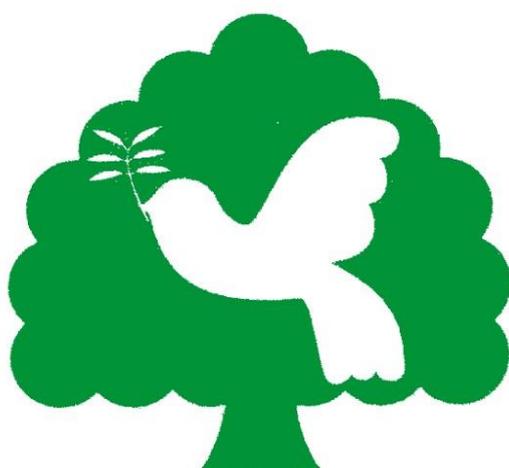


平成30年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
中長期目標について	3
平成30年度法人目標について	4
【平成30年度業績報告】	4
【役員会等開催報告】	7
【委員会・諸会議実施報告】	8
【職員研修・実習生受け入れ実施報告】	12
事務局	14
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	17
生活介護	18
施設入所支援	19
医務室・訓練室	20
短期入所	21
【利用者行事等実施報告】	22
【利用者週間活動実施報告】	24
【ヒヤリハット・事故報告】	25
【苦情等について】	26
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	27
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	29
<u>児童通所支援事業ハピネス浜野</u>	31
児童発達支援	32
放課後等デイサービス	33

はじめに

平成30年度は、制度の改定があり、特に、短期入所利用に関しては、年間利用日数上限が一人180日までとなり、上期は、利用者数が伸び悩んだ時期もあった。年間でみると、短期入所の新規利用者が増えたので、それに伴い生活介護利用者も増えている。生活介護のみの利用では、新規利用契約者を受け入れることができたが、通院や体調不良での欠席、また、入所利用者の外泊や入院等もあり、介護報酬の改定もあった中でも生活介護全体での利用者数の増加が見られず、増収は見込めないといえる。

利用者の快適な生活のために、大規模な設備修繕（空調入替等）を実施した。今後、ランニングコスト削減になるよう、太陽光発電も設置した。15年経過の中で長期修繕計画に沿って実施しているが、修繕が必要な箇所が出てきているので、日々、機器の確認を実施し、今後は、利用者支援に支障をきたさないよう実行していく。

福祉サービスの向上のための委員会を見直し、計画に沿って実施した。身体拘束廃止委員会では身体拘束時の記録の徹底、感染症対策委員会では演習を取り入れ感染拡大防止に努めた。環境改善委員会を設置し、設備とサービスの双方から課題を見つけ、事故削減に対しては、検証や業務改善など様々な課題に対し取り組んだ。

その一方で、利用者や保護者に関する個人情報の管理が徹底できず、ご迷惑をおかけしたことを省み、今後は法人の職員としてより資質を高めていかなければならない。次年度は、職員数の増加、職員教育の充実を図るとともに、地域や障害者から必要とされるサービスを提供できる法人となるよう職員一丸となって取り組む所存である。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・今年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・平成30年度当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】※平成31年3月31日現在

理事 6名

監事 2名

評議員 8名

評議員選任解任委員 4名（外部委員2名）

【職員総数】※平成31年3月31日現在

52名

【法人全体の取り組み】

中長期（平成30年度から3年間）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災を中心とした地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

- ・訓練等の実施検討も含め、町内会との連携を深めた。利用者の安全確保については、防犯防災委員会が中心となり取り組んだ。
- ・地区社協と連携し、初めて生浜地区体育祭の見学を実施した。今後は、地域住民への施設や障害者への理解のため体育祭への参加も検討していきたい。
- ・認知症カフェ「濱野館」は休まず営業した。平均利用者数4人で、おかわりするお客様もあり、総売り上げは6,500円であった。
- ・保護者ボランティアの参加でボッチャをサークル活動として実施できた。

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の実施と検討

[報告事項]

- ・介護事故に対して同様の事故が起きないように迅速に検証、対策を講じたが、一方で日々の身体確認が十分でないこともあった。
- ・空調設備入替等で暮らしやすい環境を整えた。
- ・社会福祉充実計画では、職員育成（実務者研修実施）を実施した。

3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方・考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

[報告事項]

- ・生活支援課の入所部門・通所部門を統合し、課全体で利用者支援を実施した。職員がグループで通所・入所利用者を受持ち、生活の質の向上に取り組んだ。
- ・内部・外部研修に参加し、知識や技術の向上に努めた。

採用 12名（入職率：28年度 13/56 23.2% 29年度 11/49 22.4% 30年度 12/52 23.0%）

退職 10名（離職率：28年度 16/56 28.6% 29年度 9/49 18.4% 30年度 10/52 19.2%）

平成30年度法人目標について

施設整備の大規模修繕の安全な実施

～利用者の生活に欠かせない空調・給水等の設備～

15周年（平成30年）記念行事の実施

～利用者・家族・地域・職員とともに～

職員の資質向上と職場定着を図る

～業務改革、研修の充実と働き方の多様性～

[報告事項]

- ・施設設備の大規模修繕（空調設備等）は、事故無く実施できた。
- ・3月に検査した3階の浴槽水からレジオネラ菌が検出された。浴室内・循環ポンプの除菌を行い、再検査の結果は、不検出であった。滅菌器の経年劣化により亀裂が入り、次亜塩素酸ナトリウムが循環ポンプに流れていなかったことが原因と考えられ、入れ替えた。
- ・15周年記念行事は実行委員不足や準備不足もあり、理事会で記念式典の中止を決定した。保護者会へも説明し、了承を得られた。記念行事等（式典）実施のための当初予算を、15周年記念として利用者へ還元するための次年度予算とすることとなった。
- ・リーダー的役割の職員7名が年間を通して人間力向上研修を受け、スキルアップや職場環境改善に努めた。
- ・自主的に社協等の研修に参加する職員が増加した。
- ・日中の人員確保のために業務の洗い出しを行い、勤務時間や勤務体系の変更を実施した。
- ・一部職員が利用者の個人情報の扱いに対する理解不足があり、利用者や保護者へご迷惑をかけた事例があった。今後、個人情報の扱いについて研修を実施し、管理体制を整えていく。
- ・法人職員としてモラルの欠如等がないよう、また、法令遵守についての理解を深め、業務に責任を持ち、利用者や家族、法人を取り巻く環境を大切にするための研修を実施していく。

【平成30年度業績報告】

1、事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

・30年度は、障害者支援施設（生活介護・施設入所・短期入所）において、平均利用者数が当初予算より下回ったが、児童通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）では当初予算より利用数が上回った。その結果、当初予算どおりの実績となった。

補助金・助成金申請について

- ・千葉県認知症カフェ設置促進モデル事業補助金として30千円の補助金があった。
- ・ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金11,000千円と利子454千円に対して、千葉市から3/4額の補助金があった。

- ・人材開発支援助成金として、千葉労働局から 137 千円の補助金があった。
- ・特定求職者雇用開発助成金として、千葉労働局から 300 千円の補助金があった。

支出について

<建物・設備等>

- ・大規模修繕の合計金額 ￥148,116,200－
(太陽光発電設備のピークカット機能追加により当初予算から補正を組んで実施した。)
 - 給湯器温水ヒーター・加圧給水ポンプ・空調設備・ナースコール設備・厨房内調理機器(スチコン・ガスフライヤー)を入れ替え、太陽光設備は新設した。
- ・日中一時支援の返金額(市原市と利用者負担金差額) ￥2,047,320－
(平成25年度～27年度にかけ、区分を間違えて請求してしまったため)

<人件費・事業費・事務費>

(指標%)	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比
人件費率 (60～70%)	60.5%	61.1%	+0.6%
事業費率 (13～15%)	13.9%	12.7%	△1.2%
事務費率 (13～15%)	13.3%	13.8%	+0.5%

<積立金>

- ・ハピネス浜野にて、3階浴槽改修等として修繕積立金を 12,000 千円、職員増員人件費として人件費積立金 7,000 千円積み立てた。
- ・グループホームセレニテにて、グループホーム新規事業として新事業積立金 8,000 千円を積み立てた。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- ・資金収支計算書上の決算額については、概ね予算どおりの内容となった。
- ・事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して 15,948 千円の増益となった。

社会福祉充実計画について

- ・職員育成事業として実務者研修を開講し、法人職員 6 名が受講し、その内受験資格者 2 名中 2 名が介護福祉士試験に合格した。
- ・ポート浜野における、児童通所支援事業の移転・拡充及びグループホームの開所については、具体的な計画は立てることが出来なかったが、新設のグループホームの見学や資料を研究した。
- ・太陽光発電設備工事を実施した。

2、予算・決算対比【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	対比 (予算－決算)	
事業活動収入	342,497	338,776	3,721	(98.9%)
事業活動支出	301,054	299,432	1,622	(99.4%)
事業活動資金収支差額	41,443	39,344	2,099	
施設整備等収入計	8,250	8,250	0	(100.0%)
施設整備等支出計	159,690	162,051	△2,361	(101.5%)
施設整備等資金収支差額	△151,440	△153,801	2,361	
その他の活動収入計	133,471	144,552	△11,081	(108.3%)
その他の活動支出計	26,305	29,077	△2,772	(110.5%)
その他の活動資金収支差額	107,166	115,475	△8,309	
当期資金収支差額合計	△12,625	1,016	△13,641	

3、収支の推移【事業活動計算書】

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	対 比	
サービス活動収益	320,003	335,951	15,948	(105.0%)
サービス活動費用	292,966	315,933	22,967	(107.8%)
増減差額	27,037	20,018	△7,019	
サービス活動外収益	2,631	2,825	194	(107.4%)
サービス活動外費用	2,469	2,738	269	(110.9%)
サービス活動外増減差額	163	87	△76	
経常増減差額	27,199	20,105	△7,094	
特別収益	11,250	10,297	△953	(91.5%)
特別費用	3,017	2,202	△815	(73.0%)
特別増減差額	8,233	8,096	△137	
当期活動増減差額	35,432	28,200	△7,231	

4、資産・負債の推移【貸借対照表】

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	対 比	
流動資産	93,890	106,133	12,243	(113.0%)
固定資産	1,091,104	1,088,409	△2,695	(99.7%)
資産合計	1,184,994	1,194,542	9,548	(100.8%)
流動負債	26,706	37,932	11,226	(142.0%)
固定負債	60,665	49,207	△11,458	(81.1%)
負債合計	87,371	87,139	△232	(99.7%)
純資産	1,097,623	1,107,403	9,780	(100.9%)

【役員会等開催報告】

1. 監事監査

平成 30 年 6 月 1 日（金）

平成 29 年度法人経営事業の監査

2. 理事会

第 1 回理事会 平成 30 年 5 月 30 日（水）

議題 第 1 号議案 大規模修繕指名競争入札業者選定について

第 2 号議案 厨房設備の入替について

第 3 号議案 給与規程、パートタイマー給与規程の改正について

第 4 号議案 福利厚生要綱について

第 2 回理事会 平成 30 年 6 月 6 日（水）

議題 第 1 号議案 平成 29 年度 事業報告、決算について

第 2 号議案 社会福祉充実計画について

第 3 号議案 定時評議員会の招集について

第 3 回理事会 平成 30 年 7 月 25 日（水）

議題 第 1 号議案 就業規則の改正について

第 2 号議案 大規模修繕に係る補正予算について

第 4 回理事会 平成 30 年 9 月 26 日（水）

議題 第 1 号議案 給与規程の改正について

第 2 号議案 ナースコール設備の入替について

第 5 回理事会 平成 30 年 10 月 18 日（木）

議題 第 1 号議案 法人の対応について

第 6 回理事会 平成 30 年 11 月 21 日（水）

議題 第 1 号議案 短時間正規職員就業規程の改正について

第 2 号議案 社有車の車両リースについて

第 3 号議案 法人の対応について

第 4 号議案 ナースコール設備の入替について

第 7 回理事会 平成 31 年 1 月 30 日（水）

議題 第 1 号議案 給与規程の改正について

第 2 号議案 評議員候補者の推薦について

第 3 号議案 次年度事業計画について

第 4 号議案 複合機の入替について

第8回理事会 平成31年3月27日(水)

- 議題 第1号議案 平成30年度補正予算(案)について
第2号議案 平成31年度事業計画・予算(案)について
第3号議案 給与規程の一部改正について
第4号議案 評議員降所者の推薦について
第5号議案 相談役・顧問に関する規程の新設について
第6号議案 役員等報酬規程の一部改正(理事長報酬の設定)について
第7号議案 相談役任免について
第8号議案 給与支給日見直し方法について

3. 評議員会

- 第1回評議員会 平成30年6月21日(木)
議題 第1号議案 平成29年度事業報告、決算について
第2号議案 社会福祉充実計画について

4. 評議員選任・解任委員会

- 第1回評議員選任・解任委員会 平成31年3月28日(木)
議題 第1号議案 評議員の選任について

【委員会・諸会議実施報告】

①運営委員会 … 法人内事業所の運営管理

[報告事項]

- ・各事業の利用状況の把握と運営上の課題について検討した。
- ・今年度の行動目標の振り返りと次年度の行動目標を作成した。

②安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- ・職員健康相談の平均相談数は月平均1件で、体調や働き方について産業医に相談した。
- ・部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を2回実施した。
- ・健康診断(腰痛検査含む)、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- ・業務内容を問わず腰痛がみられることから、全職員を対象に腰痛予防内部研修を行った。
- ・労災事故0件、時間外労働超過者0件、育児休業1名

③リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメントと委員会統括

[報告事項]

- ・千葉県への事故報告は3件。1件は訓練中によるもので、迅速に病院受診と家族への連絡と謝罪を行った。他2件、骨折については、受傷日時や明らかな原因は不明で、腫脹が見られるなど表面的に変異に気づき受診をした結果、骨折だったと判明している。事故は起こさないという意識を持ち、一介助、一確認を慎重に実施するよう努めた。
- ・前年度より、ヒヤリハット件数増、事故件数は多少減少したものの、事故としての服薬ミスは増加した。
- ・物損が多く見られ、施設備品等の取扱いについて丁寧に扱うこと、点検を行うこととし、発見シート・ヒヤリハットを活用することで事前に気づく目を持ち、事故の再発防止に努めた。
- ・レジオネラ菌検出に対し、浴室の清掃、今後の対策や入浴の検討を行った。

④感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- ・感染予防ポスター（手洗い、食中毒予防）の掲示、自己チェックシート記載、館内（ハピネス浜野・グループホームセレニテ）巡視を年3回実施した。
- ・7月、10月はノロウイルス予防研修と吐物処理演習、12月にインフルエンザと風疹の予防研修を実施した。場面の違う吐物処理演習を行うことで、状況に応じた対応と汚物の処理に際しての手技・手順を統一することができた。

⑤環境改善委員会 … ヒヤリハット・事故報告の検討・再発防止、建物、設備等の改善、福祉サービスの向上

[報告事項]

- ・危機管理委員会を、発生するリスクに対して各方面から検討するために、環境部門（モノ）、サービス部門（ヒト）を設定し、それぞれの部門で日常の課題を挙げる委員会として取り組んだ事で、施設全体のサービス向上にはつながった。しかしながら法人全体のリスクマネジメントにはつながらず、連携とは違った形でそれぞれの取り組みが進んでしまった。来年度は部門の関連性を確認した上で進めていくようにする。

⑥身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

[報告事項]

- ・会議は毎回、前回、話し合われた内容を確認し合った上で実施している。
- ・委員においては「何が拘束に該当するのか」への理解が深まっており、新規の拘束事案は速やかにチェック表に加えられている。
- ・その他、身体拘束実施チェック表の運用状況の確認およびケース検討等を実施した。ケース検討は具体的かつさまざまな事案が提示、話し合われた。

⑦虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- ・虐待の早期発見、自身の振り返りをするための「職員セルフチェックリスト」は、2回（6月、12月）に実施した。同リストの集計結果から、職員からの虐待と思われる行為及び、虐待へと繋がりそうな言動等はなかった一方で、職員自身の業務中の課題や、支援に関する悩み、心身の不調などのチェックは増加傾向。同リストの集計結果を各部署会議で公表すると共に、対応策や改善方法について具体的に検討する機会を設けた。
- ・虐待防止関連法規について理解を深める為、委員内で「障害者虐待防止法」や「虐待防止マニュアル作成」に関する研修を行った。その結果、委員構成員の虐待に関する知識の習得へは繋がった。しかし、他職員への更なる啓発や周知へは繋げる事が出来なかった。

⑧防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、マニュアルの整備

[報告事項]

- ・消防機器の自主点検を実施した。
- ・特殊さすまたセキュリティーセイバーを導入し、さすまたケルベロスのデモを実施した。
- ・防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。
- ・防犯対策マニュアルの作成、地震、火災といった災害対策マニュアルの見直しを実施した。

⑨給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- ・給食委託業者と施設長・栄養士が参加して、2か月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- ・行事メニューや防災食の報告を行った。今年度、炊き出し訓練は実施できなかった。
- ・衛生面では、ごみの処理や食器の片づけ、また感染症への対策について確認した。

⑩全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- ・体調不良、急用以外の職員は会議に出席し、利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を報告し、検討した。
- ・規程の説明や理事会の報告等実施した。
- ・各委員会研修を実施した。

平成30年度 委員会実施日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営	年間計画 研修 (内容)	*17 事業報告 書作成	*21 〇 ミーティング	*17 〇 ミーティング	*16 〇 ミーティング	*20 〇 ミーティング	*18 〇 ミーティング	*15 〇 ミーティング	*20 大掃除	*17 次年度予 算要望	*14 事業計画 作成	*22 行動目標作 成
安全衛生	年間計画 研修 (内容)	*16 危険物確認	*13 大掃除 〇 腰痛予防	*18 熱中症予防対策 〇 腰痛予防	*8 〇 腰痛予防	*26 産業医巡視	*17 〇 腰痛予防	*14 予防接種 ミーティング	*12 大掃除	*30	*20	*13
リスクマネ ジメント	年間計画 研修 (内容)			*19 各委員会 報告				*15 各委員会 報告				*22 各委員会 報告
感染症 対策	年間計画 研修 (内容)	*2 前年度報告		巡視 自己チェック 〇 新人対象・嘔吐 物処理	*1 一報告		〇 おう吐物の処理	〇 感染症・インフルエ ンザ対策		巡視 自己チェック	*6 加湿器給水	
環境改善	年間計画 研修 (内容)	*16 改善課題確認	改善計画実施	改善計画評価	改善計画実施	*19 改善計画評価	改善計画実施	*21 改善計画評価	改善計画実施	*23 改善計画評価	改善計画実施	*20 改善計画評価
身体拘束 廃止	年間計画 研修 (内容)	*25 ケース検討 チェック表確認		*25 ケース検討 チェック表確認			*24 ケース検討 チェック表確認			*30 ケース検討 チェック表確認		
虐待防止	年間計画 研修 (内容)	*11 虐待防止法 の理解	虐待防止チェック リスト	*11 一集計			*22 不適切なケ アと虐待 〇		虐待防止チェック リスト	*16 一セルチェック集計		
防犯・防災	年間計画 研修 (内容)	*7 総合避難 訓練について	総合避難訓練 6日実施		*6 総合避難 訓練反省	さすまたの メンテナンス実施	報告・検討	*5 さすまたの 購入について			*20 備蓄品・衛 生用品の確認	夜間想定避難 訓練 7日実施
全体会議	年間計画 研修 (内容)	*24・25 訓練 内容確認	*28・29 設備 大規模修繕	*26・27 消防 設備点検 〇 関70 研修報告	*23・24 ハビネス 祭 確認	*27・28 設備改修工 事	*25・26 訓練内 容確認	*29・30 スリッ チェック 〇	*27・28 設備入 替工事終了	*24・25 訓練 内容確認 〇	*21・22 エレベ ーターア 交換	*28・29 ナース ロール 工事終了
給食会議	年間計画 行事食	*17 お花見弁当	端午の節句 リクエスト	七夕 リクエスト	*21 精進料理	ハビネス祭 お月見	*16 ハロウィン	リクエスト	*18 クリスマス会 冬至・年越しそば	おせち 七草 お汁粉	*19 節分 ハレンタイン	ひな祭り

【職員研修・実習生受け入れ実施報告】

月	研 修 等	実習生等受け入れ
4月	介護職員待遇研修 リーダーシップ・職場内コミュニケーション 事務担当者フォローアップセミナー 実務者研修開講	初任者研修
5月	福祉施設新任職員研修 フレイル予防研修(市保健所) 新卒予定者求人手続説明会	初任者研修
6月	喀痰吸引研修 関東甲信越地区身体障害者施設職員勉強会 医療的ケア教員講習会 新入社員防火教室 栄養・衛生管理研修会	介護実習2名 施設見学8名
7月	千葉県身体障害者施設協議会職員研修会 全国身体障害者施設協議会研究大会	介護等体験2名
8月	千葉県相談支援従事者専門コース別研修	相談実習1名 施設見学10名
9月	発達障害に関する研修 フォローアップ研修 関東甲信越地区身体障害者施設職員研修大会 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理者コース	介護実習2名 施設見学10名 介護等体験1名
10月	福祉サービス苦情解決研修 相談支援従事者専門コース研修 福祉サービス苦情解決研修会 相談支援従事者現任研修 相談援助技術研修 フォローアップ研修 サービス提供責任者現任研修	初任者研修
11月	相談支援従事者専門コース別研修 フォローアップ研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 千葉県身体障害者施設協議会職員研修 介護過程研修 I	介護等体験1名 施設見学10名
12月	防災力強化研修	施設見学8名
1月	高次脳機能障害リハビリテーション講習会 かいごの学校 in ちばIV 社会福祉法人制度改革フォローアップセミナー 病態栄養研修	介護実習2名 初任者研修

	社会福祉法人会計実務者研修 ファシリテーション研修	
2月	社会福祉法人会計決算準備研修 ペップトークで職場活性化研修 相談支援専門員スキルアップ研修 摂食・嚥下障害ケア研修	
3月	強度行動障害支援者養成研修	
毎月	人間力向上研修	

研修等

- ・キャリアパスフレームに沿って、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。
 - ・社協、千葉県が主催するセミナー等に参加し、業務を進めるための知識を習得した。
 - ・各関係機関との連携を深めるため、事業所間連絡会や研修会に参加した。
 - ・生活支援員の介護技術の向上のため、各種研修に参加した。
- *外部研修参加者は全体会議や部署内会議で伝達研修を実施した。

実習生等受け入れ

- ・介護等体験実習生を教職課程の一環として各大学から計4名受け入れた。
- ・介護実習生を京葉介護福祉専門学校から計6名受け入れた。
- ・相談援助実習生を淑徳大学から計1名受け入れた。
- ・初任者研修施設見学として4回実施し、(株)ふれあいサービスセンターから計36名受け入れた。
- ・初任者研修実習生を(株)ふれあいサービスセンターから計4名受け入れた。

事務局

1. 適正な事業管理、行事等の実施

①各事業の管理・調整

[報告事項]

- ・平成30年度より3年の介護報酬改定が実施されたことにより生活介護、施設入所支援、短期入所、児童発達支援、放デイは単位増で、共同生活援助、計画支援は単位減となる。送迎加算や専門職員の配置加算は増えた。
- ・施設入所支援においては、利用者の外泊数（入院1名）が多かった。
- ・生活介護は、特別支援学校新卒利用者や相談支援事業所からの紹介等で、新規利用者は6名であった。
- ・短期入所は制度改正で利用者の年間利用日数上限が180日となり、4月から4ヶ月間利用者数が減少したが、調整後は前年同様の利用数となった。
- ・グループホーム運営は安定しており、3名が就労、3名がハピネス浜野の生活介護利用者となっている。
- ・児童通所支援事業は定員数（6名）の1.5倍の9名の利用児を受け入れる日が多かった。
- ・相談支援事業は、児童の相談数を増やすことができた。

②適切な労務・財務管理

[報告事項]

○労務管理について

- ・社労士と相談しながら各種規程の改正を行った。
- ・日中の職員数の充実化を図るため、早出・遅出出勤の時間帯を変更・追加し、早出1・早出2、遅出1・遅出2とした。また夜勤の労働時間を8時間とし、就業規則を改正した。
- ・日割り計算の馴染まない手当(家族手当・住宅手当等)を月単位で支給すること、また、中途採用者について、キャリアパスフレームに基づき職能等を検討し、等級号数を決定できるように給与規程を改正した。
- ・運転業務を業者へ委託しドライバー数が安定したことで、生活支援員の運転回数が前年度の1/10以下となったため、運転手当を廃止した。
- ・合理的かつ経済的な通勤手当支給のため、通勤手当支給申請書の様式を変更した。
- ・福利厚生での職員紹介謝礼は、紹介者と新規採用者の2名が対象となった。

○財務管理について

- ・税理士との打合せを月1回行い、財務諸表の見方や予算管理等について学び、適切な会計処理に努めた。

③ 15周年記念行事

[報告事項]

- ・実行委員会を立ち上げて平成31年3月に式典等実施する計画案を作成したが、委員不足や準備不足もあり、理事会において式典の実施は見合わせる事が決定され、保護者会等の承諾を得た。
- ・利用者へは、記念行事として次年度に外出等を検討することとなる。また、記念誌作成のために集めた写真は今後活用する。

④施設整備の大規模修繕

[報告事項]

- ・ボイラー2基の入替え、加圧給水ポンプの入替え、ボイラー用配管の一部取替を実施し、昨年度より続いていたエラー等の不具合を解消した。
- ・社有車ラウムが経年劣化による故障が多発し、廃車とする。助手席が外側を向く補助シート、車いす1台の固定も可能なシエンタを導入した。
- ・館内空調設備をガス空調から電気式の空調設備に変更し、各居室のエアコンを一般的なルームエアコンにした。室外機に不具合が発生した場合でも全ての居室のエアコンが使えなくなるといった状況が解消された。また、太陽光パネルを屋上に設置し、発電した電気で非常時には入所フロアの一部照明やコンセントを使用できるようにした。
- ・トイレ、洗面台等衛生機器面で不具合が多発した為、大規模修繕の際に点検を実施。その結果、来年度に修繕を行う予定。
- ・厨房の吸排気設備のメンテナンスを実施した。
- ・厨房内調理機器を入れ替えた。
- ・ナースコール設備の入れ替えを実施し、ナースコールとPHSの連動並びにPHSと外線電話の連結も実施した。

⑤地域との連携

[報告事項]

- ・利用者・職員で浜野地区や諏訪神社、本行寺の行事（盆踊り、秋祭り、初詣、豆まき）に参加した。
- ・ハピネス祭りの前に、施設職員と諏訪神社奉賛会並びに地元町会で会合を開き、今後の協力体制について話し合うことができた。今後も継続をして行く方向で調整をしていく。
- ・ハピネス祭りには、ボランティアとして地域住民の参加があった。
- ・認知症カフェ「濱野館」は2年目となり、地域の方々の憩いの場となるよう努めた。ポイントカードを作成し、貯まると1杯無料にしたり、盆踊りや敬老会に無料券付きのチラシを配布するなど様々な取り組みを行う。今後もより集客をできるよう計画を立てる。
- ・浜野圏域多職種連携会議に参加し、地域の「みまもりあい・プロジェクト」に協力することとなる。

2. 防災計画 … 防犯・防災において職員全員がマニュアルに沿った行動ができるようになる。

- ①利用者及び職員に対して、総合訓練と夜間想定訓練を実施し、防災の知識と行動力を高める。
- ②地域住民との連携を強化し、災害時にお互いの協力体制を図れるようにする。
- ③防犯訓練を実施する。

[報告事項]

- ・消防通報訓練を含む総合避難訓練を6月6日、夜間想定訓練を3月7日に実施した。
- ・防災マニュアルを作成した。
- ・今後、委員会と連携し、町内との協力体制を強化していく。

3. 広報活動 … 法人の活動状況を広く周知させる。

- ①対象（関係機関・新規利用者・現利用者・求人等）を明確にした広報活動に取り組む。
- ②ホームページ・Facebookを更新し、随時情報を提供する。

[報告事項]

- ・ホームページのレイアウトの変更を行い、閲覧しやすいようにした。
- ・利用者の画像使用承諾に基づき、ホームページとFacebookに行事や活動内容を都度アップし、速やかな情報提供を実施した。
- ・実務者研修実施の告知、財務関係書類や児童発達支援事業の事業所評価を公開した。

4. 食事提供 … 利用者の状況に応じた食事の提供と適切に栄養を管理する。

- ①食事形態を考慮し、楽しい雰囲気の中で食事ができるように努める。
- ②嗜好調査、意見箱「味ポスト」や聞き取りを行い、利用者の声を反映させる。
- ③行事食や特別メニューを提供する。
- ④行事食以外でも、利用者の希望を取り入れた食事を計画する。
- ⑤栄養ケアマネジメントを継続する。

[報告事項]

- ・食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- ・嗜好調査は年1回6月に行い、利用者懇話会で出た味やメニューのリクエストを取り入れた。
- ・行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、その他ハピネス祭りやクリスマス会、行事等に合わせた特別メニューを実施した。
- ・体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- ・食事や健康状態に不安がある利用者へは、介護や相談の職員と連携し、説明を行った。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

基本方針

- ・利用者および家族、地域との信頼関係の構築に努め、利用者の立場にたった支援を提供する。
- ・利用者の特性を理解し、安全かつ統一されたサービスを提供する。
- ・充実した生活の場となるよう、利用者のニーズを個別性のあるサービスへ反映させる。

[報告事項]

- | |
|--|
| ・生活支援課の入所・通所部門別を廃止し、生活支援課の支援員として利用者支援にあたることで、サービス内容の統一、質の向上に努めた。 |
| ・個別支援計画書の理解に努め、様々な利用者の日常生活上の課題に取り組んだ。 |

【利用者年齢構成】

平成31年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所 利用者	男	1	1	1	4	6	3	0	16
	女	0	0	2	6	2	4	2	16
通所 利用者	男	1	10	7	1	3	0	0	22
	女	0	6	2	3	2	0	0	13
計		2	17	12	14	13	7	2	67

【利用者平均年齢】

入所利用者 49歳

通所利用者 30歳

生活介護

サービス方針

- ・安全な介護サービスを提供できるよう、情報の共有を図り、職員間の連携を高める。
- ・利用者自身で選択・決定できるよう活動内容の充実を図る。

目 標

- ・利用者一人ひとり個別性の高い活動を実施する。

[報告事項]

- ・利用者のニーズを考え、午前中は主に2階で入浴支援と個別活動、午後は主に1階で全体活動を行い、清潔保持や身体機能の活性化、興味の幅を広げる活動を実施した。
- ・利用者が興味のあるサークル活動を少人数でも回数多くできるよう取り組んだことで、多数の利用者が複数のサークル活動に参加することができた。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数 (名)	13,985	13,394	△591
1日あたり平均利用者数 (名)	54.4	52.3	△2.1 (96.1%)
事業収入 (千円)	196,735	197,680	945 (100.5%)

【直近5年間の利用者の推移】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者定員 (名)	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数 (名)	50.4	53.0	54.5	54.7	52.3
稼働率 (%)	84.0	88.3	90.1	91.1	87.1
稼働日数 (日)	258	259	259	257	256
利用者延べ人数 (名)	13,026	13,731	14,126	14,061	13,394
事業収入 (千円)	177,042	202,374	205,748	196,748	197,680
1人あたり利用単価 (円)	13,591	14,738	14,565	13,992	14,758
平均障害支援区分	5.2	5.2	5.3	5.4	5.3

施設入所支援

サービス方針

- ・利用者の自立に向け、生活の質を高めるため、日常のあらゆる環境を整える。

目 標

- ・利用者の心身の変化に応じた適切な対応に努める。

[報告事項]

- ・前年度3月に1名の退所に伴い、4月に1名が入所する。生活介護（通所）利用者が入所する傾向が多いので、今年度に生活支援員が一体化してサービスにあたる事で、新規利用者の情報共有の強化となった。
- ・昨年度同様、主に週末を利用した外出活動として、近隣のコンビニやショッピングセンターへの買い物を実施した。
- ・千葉県身体障害者施設協議会の行事（オセロ大会・ハーティコンサート）に参加し、日頃の活動の成果を発揮するとともに、他施設と交流をはかった。
- ・地域行事への参加として、千葉市スポーツ大会の他、近隣の夏祭り、節分行事に参加し、地域の方と交流を図った。
- ・地区社協と連携し、初めて生浜地区体育祭の見学を実施したので、継続していきたい。
- ・医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋げた。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数（名）	11,429	11,264	△165
1日あたり平均利用者数（名）	31.3	30.8	△0.5（98.4%）
事業収入（千円）	83,877	69,536	△14,341（82.9%）

【直近5年間の利用者の推移】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.3	31.0	31.1	31.2	30.8
稼働率（%）	97.8	96.9	97.2	97.5	96.2
稼働日数（日）	365	366	365	365	365
利用者延べ人数（名）	11,451	11,342	11,340	11,393	11,264
事業収入（千円）	67,593	66,381	66,938	67,342	69,536
1人あたり利用単価（円）	5,903	5,852	5,903	5,910	6,173
平均障害支援区分	5.1	5.2	5.3	5.3	5.3

医 務 室

サービス方針

- ・利用者の安心・安全を確保するために健康管理に努め、異常の早期発見、健康保持のための適切な措置を講じる。

[報告事項]

- ・定期通院は月平均28件で約6割を施設対応、臨時通院は月平均2件で施設対応、救急車対応は1件で入院加療となった。1月にインフルエンザA型の発症があり利用者7名、職員1名が感染した。施設内での感染はない。
- ・日々の体調管理と服薬管理として、毎月1回嘱託医が入所利用者の診察を実施した。
- ・月2回の歯科医師による訪問診療で入所利用者中心に、検診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作製などが実施された。
- ・入所者9名に大腸がん検診の対応を実施した。
- ・11月に、入所利用者30名と短期入所利用者1名、グループホーム入居者5名がインフルエンザワクチン、入所利用者1名が肺炎球菌ワクチンの接種を実施した。
- ・施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、ネブライザー吸入、気管内および口鼻腔内吸引、呼吸器管理など）を実施した。
- ・利用者の体重変化の観察と栄養士とともに栄養マネジメントを実施した。
- ・入所利用者32名と短期入所利用者1名に定期健康診断を2回実施した。結果は要治療7名・要精検8名であった。嘱託医および家族に連絡し、主治医への連携を図った。
- ・今後さらに医療ケアの必要度が増してくる。また加齢に伴う疾患もあるため疾病予防に力を入れ、サービスの低下をきたさないよう努めていきたい。

訓 練 室

サービス方針

- ・利用者が心身ともに快適に過ごすため、異常の早期発見に務める。
- ・本人の意思を尊重したサービスの提供を心掛ける。
- ・利用者の身体機能の維持のため、日常の活動を適宜、評価、報告、提案する。
- ・定期的にリハビリテーション実施計画書を見直す。

[報告事項]

- ・利用者と、利用者を取り巻く様々な環境の適合状況を評価し、必要に応じて調整、変更してきた。特に電動車いすの導入等による自発的な移動能力の向上に重きを置いて実施した。
- ・補装具の新調・修理にあたっては身体機能と日常の使いやすさに留意した。

短期入所

サービス方針

- ・利用者及びその家族が安心して利用できるよう関係機関との連絡調整に努める。
- ・緊急な場合にも速やかな対応を心がけ、利用者のニーズに合わせた環境と介護サービスの提供に努める。

目 標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

[報告事項]

- ・緊急利用が必要な利用者へのベッドコントロールがスムーズに行えるよう調整を図った。
- ・利用者が安心して安全に過ごせるよう、関係機関との連携を密に取り、ケース会議を活用して職員と情報共有を図った。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数（名）	1,988	1,825	△74
1日あたり平均利用者数（名）	5.4	5.0	△0.4（92.5%）
事業収入（千円）	21,156	23,642	2,486（111.7%）

【直近5年間の利用者の推移】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	4.7	5.6	5.7	5.5	5.0
稼働率（%）	78.3	93.3	95.0	91.7	83.3
稼働日数（日）	365	366	365	365	365
利用者延べ人数（名）	1,731	2,034	2,088	2,003	1,825
事業収入（千円）	14,888	17,861	19,402	19,342	23,642
1人あたり利用単価（円）	8,601	8,781	9,292	9,657	12,954
平均障害支援区分	5.3	5.1	5.1	5.2	5.5

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月	お花見会食（11日）	ハピネス浜野	お花見松花堂弁当
5月	千葉県障害者スポーツ大会 （13日）	青葉の森陸上競技場	節句メニュー
6月	利用者懇話会（20日） オセロ大会（22日）	3階（すずかけ） 千葉県ハーモニープラザ	リクエストメニュー
7月	七夕飾り	1階（ねむの木広場）	七夕メニュー
8月	本行寺盆踊り（17日）	本行寺	精進料理
9月	ハピネス祭り（8日）	ハピネス浜野	お祭りメニュー 月見ハンバーグ 利用者健康診断
10月	ハーティーコンサート（10日）	かずさアカデミアホール	ハロウィン
11月	生浜地区体育祭（3日）	生浜中学校	リクエストメニュー
12月	クリスマス会（19日）	1階（ねむの木広場）	インフルエンザ 予防接種 クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば 産業現場実習1名
1月	諏訪神社初詣（1日）	諏訪神社	おせち料理 七草粥・白玉汁粉 産業現場実習2名
2月	諏訪神社節分祭（3日）	諏訪神社	節分メニュー バレンタインおやつ
3月	ひな壇飾り 外出活動（買い物） 外出活動（お花見）	ねむの木広場 ベイシア、ベルク 松ヶ丘公園他	利用者健康診断 ひな祭りメニュー
毎月	【理美容】 アラモード、髪人（第3月曜・第2火曜） 【ボランティア活動】 生け花（第1月曜） 音楽を楽しむ会（最終水曜） 車いすダンス（第2・第4月曜） ボッチャ（偶数月 第2水曜） パソコン（第2・第4土曜・） 【サークル活動】 手工芸、木工、音楽、美容、園芸、料理 【その他】 体重測定（1回） 嘱託医診察（1回） 訪問歯科診療（2回） みんなの声ポスト確認（月初） 味ポスト（随時聞き取り）		

産業現場実習

桜が丘特別支援学校、袖ヶ浦特別支援学校から高等部の実習生を受け入れた。

外出活動

買い物（ベイシア、ベルク）ドライブ（松ヶ丘公園、大百池公園、おゆみ野さくら公園）

ハピネス祭り

テーマは「ハピネスワンダーランド」、利用者主体で、職員やボランティア、参加者との交流を図った。仮装大会、音楽コンサート、喫茶店、作品展示や販売を行った。

クリスマス会

テーマは「みんなで作るクリスマス」、利用者と職員が一体となって行った出し物、ビンゴゲーム、ギター演奏による合唱を行った。

行事食

季節感を取り入れた食事、利用者から聞き取ったリクエストメニューを実施した。

利用者懇話会

入所、生活介護利用者と職員が集まり、お茶やお菓子を楽しみながら、大規模設備修繕の説明や意見交換を行った。

オセロ大会

利用者から4名(団体戦3名、個人戦1名)を選抜、団体戦でⅡ部の準優勝となり、次年度はⅠ部での参加となった。

ハーティーコンサート

利用者4名が参加し、楽器演奏と歌で音楽発表をした。午後はゲームを通じて他施設利用者との交流を図った。

車椅子ダンスボランティア

ボランティアとの交流を図りながら、音楽に合わせて車椅子でのダンスを楽しんだ。

パソコンサークル

利用者一人一人の能力や希望を取り入れながら、パソコンの指導を受けた。

生け花ボランティア

ボランティアの支援を受けながら、生花が一番良い表情になるように花器へ生け、ロビーへ飾るなどして施設内を彩った。

歌を楽しむ会

ボランティアの楽器演奏と歌声に合わせて一緒に歌い、季節の歌を楽しんだ。

サークル活動

- ・手工芸、木工サークルでは利用者の興味や能力に応じた作品を作成し、達成感を共有した。
- ・音楽サークルではハピネス祭やクリスマス会での発表、演奏を目標に、利用者それぞれが打楽器等の活用や、発声を通じて音楽への関心や演奏を通した一体感を楽しんだ。
- ・美容サークルでは行事や外出の際にネイル等を行い、年齢に応じたおしゃれを楽しんだ。
- ・園芸サークルでは施設内の畑で野菜作りを実施し、土に親しみ、草木の成長を楽しんだ。
- ・料理サークルでは季節感のあるメニューや、行事に応じたお菓子作りを実施し、おやつとして食べて楽しんだ。

【利用者週間活動実施報告】

	午前	午後
月曜日	機械浴（男女） 一般浴（男性） 各種個別活動 機能訓練	各種全体活動 機能訓練
火曜日	機械浴（男女） 一般浴（女性） 各種個別活動 機能訓練	機械浴（男女） 各種全体活動 機能訓練
水曜日	機械浴（男女） 各種個別活動 機能訓練	各種全体活動 誕生日会（最終週） 機能訓練 体重測定 嘱託医診察（施設入所支援利用者のみ）
木曜日	機械浴（男女） 一般浴（男性） 各種個別活動 機能訓練	各種全体活動 機能訓練 訪問歯科（施設入所支援利用者のみ）
金曜日	機械浴（男女） 一般浴（女性） 各種個別活動 機能訓練	機械浴（男女） 介助浴（男性） 各種全体活動 機能訓練
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 外出活動 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 外出活動 居室内環境整備

【ヒヤリハット・事故報告】

1) ヒヤリハット報告

「ヒヤリハット報告」とは、職員がある場面で「危なかった」と感じた内容を報告する。

内 容	件 数	前年度件数
転倒	5 件	4 件
転落	0 件	0 件
ずり落ち	2 件	3 件
加害行為	1 件	0 件
服薬ミス	2 件	2 件
傷・内出血	2 6 件	2 件
器物破損	1 件	1 件
送迎	2 件	3 件
その他	2 0 件	2 7 件
合計	5 9 件	4 2 件

2) 事故報告 ①～③は千葉市事故災害報告事項

「事故報告」とは、施設内で利用者へ職員の関わりの有無を問わず発生した通常状態以外の事象を指す。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても、発生した事実に着目し、再発防止に向けた検討が必要な内容を報告する。

内 容	件数	前年度件数
転倒	2 1 件	2 4 件
転落	1 件	2 件
ずり落ち	8 件	9 件
加害行為	0 件	1 件
服薬ミス	1 1 件	9 件
傷害	7 件	1 0 件
器物破損	1 3 件	7 件
送迎	3 件	3 件
誤飲	1 件	1 件
異物混入	5 件	0 件
その他	1 2 件 (①②③)	1 8 件
合計	8 2 件	8 4 件

千葉市事故報告詳細

① 骨折事故（入所利用者 男性 52歳 ADL部分介助）

平成30年5月10日（木曜日）9時30分、パソコン室にて職員が当事者の上着の着衣介助をしようとしたところ、麻痺側の右肘を痛がる様子が見られたため整形外科受診。初診では「偽通風」との診断を受けた。経過観察するも、14日まで痛みが継続し、看護師が前腕部背側皮膚に黄色変色を確認。16日（月1回定期診察日）に、嘱託医より痛みが自制内であれば様子観察と診断ある。17日入浴時に右肘黄色変色、指先にも腫れを確認したので、同日15時25分に整形外科再診する。レントゲン撮影で一部尺骨部のずれと橈骨部が曲がって見られるのでヒビが入っているのではないかという診断を受ける。原因としては、移乗時の圧迫などで何らかの異常が発生していたところを保護なく日常生活を送っていたため、悪化したのではと考えられる。経過観察においては、細心の注意を心がけるとともに、入浴等移乗方法を検証。ご自身の障害特性である高次脳機能障害（失語、注意障害、病識欠如など）を理解・周知し、小まめな声掛けと体調管理を実施した。

② 骨折事故（入所利用者 男性 19歳 ADL全介助）

平成30年9月20日（木曜日）14時30分、2階医務室内で車椅子上の当事者に看護師が水分補給をしていたところ、母親が左大腿部の腫脹を発見する。当事者は前週（9/14～9/17）外泊時から発熱あり、帰所後9/18には内科受診、安静に経過しており、オムツ交換時にも左大腿部の腫脹は見られていなかった。腫脹発見時、看護師、母親と全身確認。触っても表情変化なく、また理学療法士も確認。その後、母親付き添いで整形外科を受診し、レントゲン、CT等検査の結果、骨折と診断され、シーネ固定の処置。医師から原因について「骨が細く折れやすいため何かしらの負荷がかかった時に折れたのではないか。」と説明を受ける。発生原因は不明であったが、生活支援員への聞き取りを実施するほか、車椅子への移乗、排泄や更衣時に無理な姿勢や力が掛からないよう、より慎重に介助した。

③ 脱臼事故（入所利用者 女性 61歳 ADL自立）

平成30年9月21日（金）9時20分、リハビリ中、当事者の寝返りを整体師が誘導。右側臥位になったところで右肩周辺に痛みの訴えがあり、当事者がいつものように手を動かさなかった。理学療法士が触診等、状態の確認後20分ほど過緊張部へマッサージを実施する。多少痛みは緩和するも自力で腕の拳上ができず、また痛みが継続していたため整形外科を受診、右肩関節脱臼と診断を受ける。関節を整復し、3週間の予定で三角巾にて安静固定の処置をされた。処置後は痛みも軽減した。リハビリは、動作継続が難しいと感じた場合、開始肢位に戻したり、誘導速度を緩める等、反応を確認しながらの誘導を心がけ様子によっては中止した。

【苦情等について】

「みんなの声」ポストで利用者からの意見を吸い上げ、各部署で検討するとともに、利用者や家族に対し迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。苦情は0件であった。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

支援方針

- ・地域性や社会資源を探り個人の生活が円滑に行えるよう相談者の希望に沿った計画・立案することで、充実した福祉サービスが受けられるよう支援する。
- ・法制度の変動を踏まえ、各関連機関との連携を図り、迅速な対応に努める。

目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう、対応に努める。
- ・同事業所意見交換会で実施する勉強会や相談支援に必要な研修に参加、異業種との交流を図り、自己啓発やスキルアップに努める。

[報告事項]

- ・今年度の計画相談支援新規契約は、障害者11件・障害児15件となり、総合計142件と前年より26件増となった。支援体制として新たに相談員が増えたことで、複数体制で自宅や事業所等に訪問し、利用者・家族と向き合いながら、聞き漏らしがないか確認した。
- ・利用者からの問い合わせには、担当者不在時でも情報を共有し対処できるよう努めた。
- ・医療機関から地域生活へ移行する方への支援も、退院時までにサービス提供事業所とサービス内容を本人交えて確認し、連携しながら本人が安心して在宅生活を送れるように整え、実施した。
- ・困難事例と思われる利用者・家族に対し、担当区の障害支援課・担当ケースワーカーやこども家庭課などを招集し、ケース会議を行った。また、緊急時対応でも他市・他施設との連携をとり、情報共有と支援を実施し、短期入所利用から施設入所することができたことで、家族支援にも努めた。
- ・千葉県実施のスキルアップ研修は随時参加し、相談支援従事者現任研修は、2名参加し相談支援専門員の更新を行った。
- ・各種障害の理解と地域生活において相談支援の充実を図れるように、美浜・中央相談支援事業所意見交換会参加し、情報収集を行った。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	予算対比
計画相談支援事業収入（千円）	2,150	2,644	494 (123.0%)
障害児相談支援事業収入（千円）	630	1,412	782 (224.1%)
合 計	2,780	4,056	1,276 (145.9%)

【直近5年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
計画書作成件数(件)	106	72	87	75	83
モニタリング件数(件)	105	178	155	155	158
新規契約件数(件)	51	21	12	6	11
3月31日時点契約件数(件)	89	100	112	103	108
事業収入(千円)	3,211	3,130	2,886	2,757	2,644

(障害児相談支援) ※平成27年2月1日事業開始

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
計画書作成件数(件)	2	12	26	23	44
モニタリング件数(件)	0	17	81	37	77
新規契約件数(件)	2	10	6	5	15
3月31日時点契約件数(件)	2	12	18	20	34
事業収入(千円)	34	470	940	821	1,412

グループホームセレニテ

(共同生活援助)

基本方針

- ・地域において自立した生活を営むことができるよう、入居者の心身状況等に応じたサービスの提供に努める。
- ・本人のニーズ、能力に合わせた日常生活が送れるよう各事業所と連携を図る。

サービス方針

- ・入居者の思いをくみ取りながら、楽しく、安全に生活できるよう援助する。
- ・共同生活における暮らし方を入居者と共に構築できるよう援助する。

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。

[報告事項]

- ・土日は利用者個々の外出活動(仕事)の機会が増えてきたことから、送り出し・迎え入れ時間の調整や帰所後の入浴時間の調整を行った。
- ・千葉県特定健康診査・がん検診の案内など、本人・家族へ情報提供を行い検診の付き添いを行った。
- ・身元引受人の変更に伴う手続き・利用説明・今後の相談など相談支援事業所と密に連携を取り対応を行った。

【入居者年齢構成】

平成31年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	0	2	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	1	0	0	0	2
計		0	1	2	1	2	0	0	6

【当初予算対比】

	予 算	実 績	予算対比
利用者延べ人数(名)	2,038	2,120	82
1日あたり平均利用者数(名)	5.6	5.8	0.2(103.5%)
事業収入(千円)	18,356	18,575	219(101.2%)

【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者定員（名）	—	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	—	3.4	5.7	5.6	5.8
稼働率（%）	—	56.7	95.0	93.4	96.6
稼働日数（日）	—	336	365	365	365
利用者延べ人数（名）	—	1,152	2,086	2,053	2,120
事業収入（千円）	—	8,949	17,477	17,745	18,575
1人あたり利用単価（円）	—	7,955	8,378	8,643	8,761
平均障害支援区分	—	3.2	3.4	3.5	3.5

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
7月	外出活動（7日）5名参加 防災訓練（25日）5名	日本科学未来館 グループホームセレニテ
8月	浜野町盆踊り（17日）2名参加 花火大会（25日）2名参加	本行寺 蘇我フェスティバルウォーク
9月	ハピネス祭り（8日）	ハピネス浜野
12月	忘年会（28日）	グループホームセレニテ
11月	生浜地区体育祭見学（3日）2名	生浜中学校
2月	節分祭（3日）3名	諏訪神社
土日	買い物・お菓子作り等	

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	事故件数	ヒヤリハット件数
転倒	7件	1件
転落	0件	0件
ずり落ち	0件	1件
服薬	1件	1件
器物破損	1件	0件
送迎中	0件	0件
その他	3件	1件
合計	12件	3件

児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

基本方針

- ・子供の気持ちを尊重し、楽しく過ごせる居心地のよい場所を提供する。
- ・心身の健やかな成長と、集団生活における基礎を培い、地域で豊かに生活することを目指す。
- ・ご家族、ご本人が安心して生活できる様支援する。

[報告事項]

- ・新規利用希望児童へ施設案内を実施した。
- ・長期休暇で利用を希望する児童へはできるだけ調整を図った。
- ・特別支援学校の学校公開や事業所連絡会等に参加し、情報の収集や共有を図った。

【当初予算対比（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	予 算	実 績	予算対比
児童発達支援利用者延べ人数（名）	147	136	△11
放課後デイ利用者延べ人数（名）	1,010	1,242	232
合 計（名）	1,157	1,378	221
児童発達支援 1日あたり平均利用者数（名）	0.6	0.5	△0.1
放課後デイ 1日あたり平均利用者数（名）	4.0	4.8	0.8
合 計（名）	4.6	5.3	0.7（115.2%）
児童発達支援事業収入（千円）	1,850	2,683	833
放課後デイ事業収入（千円）	15,067	21,558	6,491
合 計（千円）	16,917	24,241	7,324（143.3%）

【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者定員（名）	—	5	5	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	—	2.2	3.2	4.6	5.3
稼働率（%）	—	44.0	64.0	76.7	88.3
稼働日数（日）	—	128	259	257	256
利用者延べ人数（名）	—	281	827	1,177	1,378

児童発達支援

サービス方針

- ・心身の発達を促すため、個別的、集団的に適切な支援を行う。
- ・療育、機能訓練、医療的ケア（吸引、経管栄養など）、相談支援などを提供する。
- ・幅広いニーズに応えられるよう、保育士、理学療法士、看護師などが連携して取り組む。
- ・個別支援計画に基づき、一人ひとりの発達に合わせた個別支援を行う。

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育やリハビリを通じて、持っている力を発揮できるよう取り組む。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子供同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- ・次年度就学する児童が在籍しており、特別支援学校と連携を図り、訪問調査の受け入れや支援計画の引き継ぎ等を通して情報共有と相互理解を図ることができた。
- ・浜野保育園、浜野保育所それぞれの園庭開放に参加して子ども達と交流することができた。
- ・季節の制作物作成、身体を動かした運動遊び、玩具等を使用した感覚遊び、絵本の読み聞かせ、公園で遊具遊び等を組み合わせてメリハリのある療育を実施した。
- ・生活介護や放課後等デイサービスの利用者と交流し、活動を共にする事で活動の活性化や利用者同士の関係構築に繋げることができた。
- ・今後は、個別に児童の特性に合わせて体験や活動の幅を広げていく。

【直近5年間の利用者の推移】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1日あたり平均利用者数（名）	—	0.1	0.3	0.6	0.5
稼働日数（日）	—	128	259	257	256
利用者延べ人数（名）	—	2	87	147	136
事業収入（千円）	—	18	877	1,513	2,683
1人あたり利用単価（円）	—	9,000	10,080	10,293	19,728

放課後等デイサービス

サービス方針

- ・ご家族、学校との連携を密に、本人にあった支援を提供する。
- ・幅広いニーズに応えられるよう、保育士、理学療法士、看護師などが連携して取り組む。
- ・個別支援計画に基づき、一人ひとりのニーズにあわせた支援を行う。

目 標

- ・一人ひとりの状態に合わせて、快適な時間を送れるよう配慮する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。
- ・地域交流を通して地域と輪になり、好奇心や楽しみを広げる。

[報告事項]

- ・他部署と連携し、受け入れ時間を調整したり、桜が丘特別支援学校への送迎を開始するなど利用者のニーズに合わせて、支援の充実を図った。
- ・終日利用の際には、児童の状態に合わせて臥位になる時間を随時取り、疲労を緩和すると共に体調管理に配慮した。
- ・製作活動、音楽活動、スポーツ、ゲーム、玩具等を使用した感覚遊び、装飾物等の製作活動、散歩等の活動を実施した。活動に利用者のニーズを取り入れ検討し、利用者の満足度を高められるよう実施した。
- ・現在、医療的ケアが必要な児童が5割程度在籍しているので、安心・安全な対応に努めていくと共に、児童の特性に応じた活動の考案や支援に努めていきたい。

【直近5年間の利用者の推移】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1日あたり平均利用者数(名)	—	2.2	2.9	4.0	4.8
稼働日数(日)	—	128	259	257	256
利用者延べ人数(名)	—	279	740	1,030	1,242
事業収入(千円)	—	3,335	9,790	13,468	21,558
1人あたり利用単価(円)	—	11,953	13,230	13,076	17,357

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	諏訪神社
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
9月	ハピネス祭り	ハピネス浜野
10月	ハロウィン（仮装）	ねむの木広場
11月	外出会	ポートタワー
12月	クリスマス（ケーキ作り）	ねむの木広場
2月	節分	ねむの木広場
3月	ひな祭り	ねむの木広場
＊月間活動：誕生会 ＊週間活動：個々の状況にあわせた活動提供 （製作活動、音楽活動、スポーツ、ゲーム、散歩など）		

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	事故	ヒヤリハット
車両事故	1件	0件
転倒	0件	1件
返却忘れ	1件	0件
合計	2件	1件

（前年度スプーン忘れ1件）